

様式2の1

2021年度「水俣・熊本みらい基金」助成事業報告書

記入日 2022年9月28日

助成団体名 TORCH(トーチ)

企画テーマ	希望としての水俣を世界に発信するウェブサイト 制作プロジェクト（日本語・英語）
取り組み実施期間 または日時	助成決定日～2022年9月

【取り組み目的】

本プロジェクトの目的は、世界の人々に「今に至るまでの水俣」と「水俣からの希望の思想」を、特に水俣の若手の視点から、伝え届けることである。水俣は、近代という人間の性が生み出した水俣病事件という悲劇を体験し、今でも多くの患者が苦しんでいる現実がある。ただ、一方でそれを乗り越える希望と哲学も多く生み出してきた。今の水俣には、水俣病を忘れたいという動きと同時に、水俣病を過去のものとしないうために語り継ぐ動きや、水俣病があったからこそ、誰の命もふみ台にされない人にも自然にも優しい社会をつくりたいという若者たちの動きもある。悲劇の中から生み出された魂と哲学や新しい実践は、原発災害の被災者、いじめに苦しむ人々等にも希望を与えてきた。これらの希望をもたらず魂と哲学は、世界に発信していくべき財産である。

2021年には映画「MINAMATA」の公開が国内外で始まり、世界で水俣に関心を持つ人は増えると予想されました。しかし、今水俣に関するウェブサイトは、水俣病に特化したサイトか、もしくは水俣病にはほとんど触れない観光等の情報しかない。そこで本プロジェクトでは、人間が生み出した悲劇をこれ以上繰り返さないために水俣病事件を伝え続けたい一方、水俣病事件があったからこそその希望を紡ぎだす水俣の今、そして魂と哲学を、水俣に住む若者の視点から包括的に伝えるウェブサイトを、日英両語で作成する。本サイトが、水俣病事件から今の水俣を知りたい世界の人々の期待に応え、水俣病事件を忘れたいと思っている水俣の一部市民にも、希望と新しい認識を与えるものであることを目指す。

【取り組みの成果】

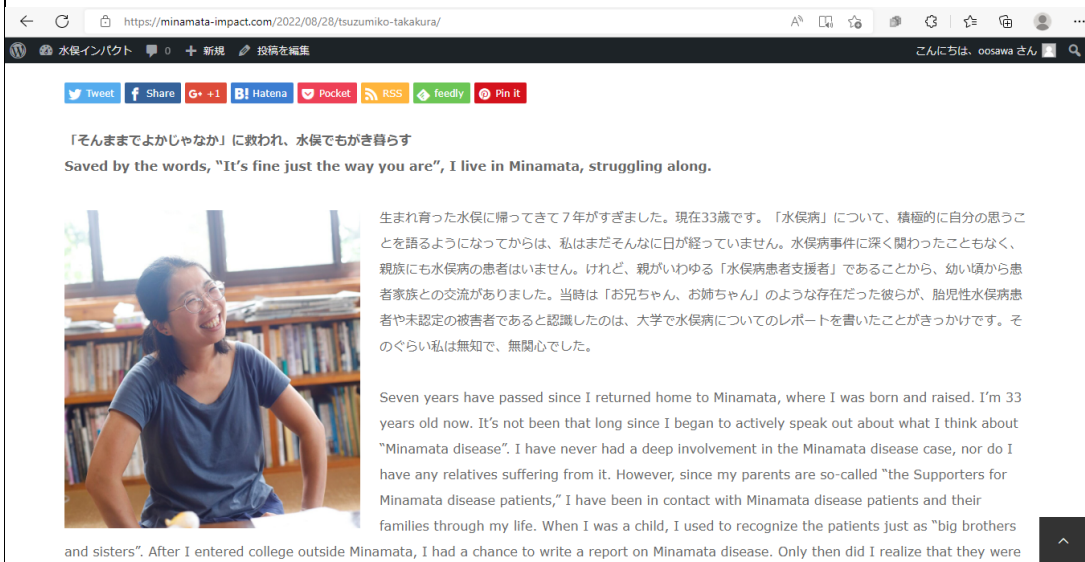
昨年9月の映画 MINAMATA の映画上映に合わせ公開した **Minamata Impact** のウェブサイトは、おかげさまで閲覧数は延べ 8000 人を超えた。新しいページが加わるたびにメンバーの **Facebook** でお知らせをすると、たくさんの方々がシェアをして下さり、サイトが 2ヶ国語併記（日英）なので、英語圏の知人たちからも感想が届く。さらに、「**Minamata Impact** のサイトを小学校の公害学習で使っています」という神奈川県からの報告もいただいた。若手写真家の外部での仕事にもつながった（上記）。大人のみならず、子どもたちにも、日本国内のみならず、海外にも、多くの人と水俣をつなぐサイトとして、**Minamata Impact** のひろがりと手ごたえを感じており、次期も続けたい。

【取り組み内容】 《サイトの充実化》

運営しているサイト **Minamata Impact** のさらなる充実（記事の増加、新しい企画（下記））を、3期目の取り組みの大きな柱とした。2021年10月～2022年9月で新たな**25**の記事を日英で掲載した。新しくページを掲載するごとに、メンバーの **Facebook** で周知を図りながら、一人でも多くの人に見てもらえる取り組みをし、これまでの掲載ページの閲覧数は延べ**8798**人と、1万人に間もなく昇る。最新の掲載サイトはこちらは下記

「そのままよかじゃなか」に救われ、水俣でもがき暮らす／高倉 鼓子

<https://minamata-impact.com/2022/08/28/tsuzumiko-takakura/>



《映画 MINAMATA をめぐる記事の掲載》

昨年の9月に水俣で行われた「映画 MINAMATA」水俣自主上映会ともタイアップし、そこへの参加者への感想を掲載し、ハリウッド映画が水俣病問題や水俣に与える新しいインパクトを記事として発信した。

《水俣からのメッセージを You Tube で発信》

2期目から取り組んできた、坂本しのぶさんやアイリーン・美緒子・スミスさんのインタビュー映像を日英での You Tube 発信は、予定より時間がかかっているが、2022年9月下旬に坂本しのぶさんの単独インタビューを発信予定である。文字お越し、ネイティブによる翻訳を終え、現在編集作業中であ

る（9月15日時点）。坂本しのぶさんの渾身のメッセージを映像として、水俣から世界に発信する。

《ウェブ写真展：今の水俣を伝える》

2021年12月に若手写真家（アマチュア含む）による写真展が、水俣で開催された。コロナ禍で実際水俣に来れない方や遠方の方にも彼らの写真と出会ってもらうため、MINAMATA IMPACT

サイト上での写真展を計画、実施した。若手写真家の集まりで趣旨を説明し（写真右）、2人の写真家から賛同を得て、2022年度は写真家森田具海さんの写真展（写真下）を、サイト上で実施している。



1777086_01_0003.12.17
Akira Tani, Chiba, 2022.12.17



森田具海「水俣湾の静けさ」 - 水俣湾、2022.12.17
Minamata Bay, Chiba, 2022.12.17



森田具海「水俣湾の静けさ」 - 水俣湾、2022.12.17
Minamata Bay, Chiba, 2022.12.17



森田具海「水俣湾の静けさ」 - 水俣湾、2022.12.17
Minamata Bay, Chiba, 2022.12.17

先月、写真家森田具海さんが表紙の写真を担当した河出書房新社の「水俣病闘争史」という本が刊行されたが、その編集者は私達が制作した Minamata Impact のホームページで森田具海さんを知り、本人に連絡をされたと、森田さんご本人から嬉しい報告をいただいた。微力ながらも私たちのサイトが、水俣在住の若手写真家の仕事につながったことは、望外の成果であった。

<https://minamataimpact.com/2022/02/16/写真家-森田具海/>

《音や音声で伝える水俣》

水俣病や水俣の希望を歌った曲や朗読といった「音」「音声」で水俣病を経験した水俣の希望を伝えるプロジェクトを計画し、次期に向けて、掲載していきたい歌手の方や作品の選定を TORCH 内部で行った。具体的な依頼や音声録音等は、次期で実施したいと希望している。